

『World Forum for BIO/MEDICAL Device in KANSAI 2010』

～医療機器、診断機器、計測分析機器 開発促進のための国際フォーラム・イン・関西～

大阪商工会議所

関西では、医療機器、診断機器、計測分析機器等の開発促進を目的とした活動がここ数年活発となっており、具体的な成果もあがりつつあります。また様々な産業分野における景況が厳しい中、医療機器関連分野については、確かな成長を見込める分野として、国内外問わず注目が集まり、他分野から参入を試みる企業が一気に増える傾向にあります。

こういった事情を背景に、医療機器開発におけるオープンイノベーションを促し、革新的な医療機器開発や具体的なビジネスを創出するため、国内外の様々な企業等のアライアンスを促進する事業「World Forum KANSAI for BIO/MEDICAL Device in Kansai 2010——医療機器、診断機器、計測分析機器 開発促進のための国際フォーラム・イン・関西」を開催いたします。

同事業は、基調講演として国内外の大手医療機器メーカーのキーパーソンによる自社ビジネスご紹介等スピーチ、国内の中小製造業や欧米のユニークな技術・ビジネスモデルをもつ医療機器関連企業のプレゼンテーション、及び個別面談等で構成されます。さらに、医療機器分野では、どのように海外企業と組めば、開発を進展、ビジネスの発展につながるのかを具体的な事例とともにご理解いただくパネルディスカッションも実施いたします。医療機器分野のビジネスでご経験深い企業様から、新規参入をお考えのモノづくり企業の皆様といった多様な企業の皆様の役に立つ、充実したプログラムとなっております。

先着順でお申し込みをお受けいたします。お早目のお申し込みをお願い申し上げます。

■開催概要

日 時：2010年2月23日（火）14:00～18:00

2月24日（水）10:00～15:25

場 所：ブリーゼプラザ（大阪・西梅田）7階 小ホール

（※プレゼンテーション企業との個別面談は2月23日（火）14:00～18:30、
2月24日（水）10:00～18:30の間に8階 801・802会議室で開催）

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー

<http://www.breeze-plaza.com/map/index.html>

主 催：大阪商工会議所、近畿経済産業局、
財団法人JKA、大阪外国企業誘致センター、
日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部・神戸貿易情報センター、
バイオビジネス・アライアンス・オブ・ミネソタ（BBAM）

共 催：NPO 法人医工連携推進機構、財団法人医療機器センター、財団法人化学技術戦略推進機構

協 力：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市、
福島県、浜松商工会議所

後 援：米国総領事館商務部、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

参加費：無料（但し昼食交流会は有料。参加費：企業関係者1000円/人、その他2000円/人
―[要事前申込み/定員80名/当日現金にて徴収させていただきます]―

※昼食交流会は定員に達しましたので、お申し込みを締め切らせていただきました。

定 員：250名（申込先着順）


プログラム：講演、プレゼンテーションセミナー、パネルディスカッション、個別面談、交流会

言 語：日-英（同時通訳付き）[講演・プレゼンテーションセミナー・パネルディスカッション]

参加申込：別紙の参加申込書に記入の上、FAXにてお申込みください。

その他：参加証は発行いたしませんので、申込後、直接会場にご参集ください。

ご参考：今回のイベントは、23日、24日の両日、全体フォーラムを大阪で行い、国内の企業等の皆様に参加いただきますが、海外から招聘した企業につきましては、25日・神戸、26日・京都におきまして、医療機器開発拠点として重要な施設や、大学、研究所、企業等を訪問し、関西のポテンシャルに関する認識を深めていただくプログラムを実施いたします。

 本事業は競輪の補助金を受けて実施しています

<<お問い合わせ>>

大阪商工会議所 経済産業部 ライフサイエンス振興担当 槇山・東（あずま）・松山

tel: 06-6944-6484 fax: 06-6944-6249

e-mail: makiyama@osaka.cci.or.jp i-azuma@osaka.cci.or.jp matsuyama@osaka.cci.or.jp

■スケジュール（予定）： *下記プログラムは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

2月23日（火）14:00~18:00

モデレーター：国立循環器病センター 研究所 副所長・先進医工学センター長 妙中 義之 氏

【基調講演】14:00~15:00

「GE New Initiative “healthymagination”」

GEヘルスケア・ジャパン 執行役員 技術本部長 星野和哉 氏

【国内企業プレゼンテーション（13社 [予定]）】15:00~17:00

- **クラスターテクノロジー(株)**（大阪府東大阪市） <http://www.cluster-tech.co.jp/>
細胞を積層して組織化するチップの形成や抗体を定量、定位置に配置して抗原濃度を検出する評価・分析機器などに利用できるインクジェット「パルスインジェクター®」を紹介。
- **(株)化繊ノズル製作所**（大阪市） <http://www.kasen.co.jp/>
超精密加工技術の開発を推し進め、マイクロリアクター、マイクロギアポンプ、各種精密加工部品、合成繊維用紡糸ノズル、不織布紡糸用ノズル、フィルムシート製造用金型等を製作。
- **シーシーエス(株)**（京都市） <http://www.ccs-inc.co.jp/>
シーシーエスは、工場の各工程の検査に用いられるマシンビジョンLED照明分野で国内60%シェアのリーディングカンパニー。独自のLED技術を活かして医療分野、民生・商業分野など新規事業を展開。
- **八十島プロシード(株)**（神戸市） <http://www.yasoijima.co.jp/>
高性能樹脂の切削加工、及び各種樹脂材料の販売を行う。また生体適合性のある樹脂を始め、耐薬品性、耐熱性樹脂などあらゆる樹脂に対応し、異素材とのアッセンブリなども可能。
- **日精テクノロジー(株)**（神戸市） <http://www.nisseig.com/>
長年蓄積した精密メカニズム・光学・ナノ加工技術をベースに、電気・電子技術を含めたR&D機能を付加して、医療機器の「小型化」「高性能化」を提案。
- **ハイレックスコーポレーション(株)**（兵庫県宝塚市） <http://www.hi-lex.co.jp/>
内視鏡の機能部品や心臓・内蔵等の血管を通した治療に用いられるカテーテルやガイドワイヤー等の医療機器の開発・生産、及び次世代の3次元細胞培養基材、人工歯根、人工骨、骨補填材等への研究開発。
- **山科精器(株)**（滋賀県栗東市） <http://www.yasec.co.jp/>
μLオーダーの微量血液の血球分離が可能な遠心分離装置、血管閉鎖や切離などが可能なマイクロ波を用いた内視鏡用手術器具を開発。製品化へ向けた、機器の改良や検証実験を一緒にできるパートナーを求める。
- **奈良精工(株)**（奈良県桜井市） <http://www.nara-seiko.co.jp/>
光学機器、OA 機器及び医療機器の精密部品加工を得意とする。材質的にはチタン合金、SUS、アルミ合金など。厚生労働省の第一種医療機器製造販売業としての許認可を取得し、医療機器製品を国内外に販売展開。
- **東洋理機工業(株)**（大阪市） <http://www.toyoriki.co.jp/>
少子高齢化社会の労働人口減少に対し「職人の技能をロボットで継承させる」ための研究開発を行うなど、産業用ロボットのシステムインテグレータ。
- **(株) Eyes, JAPAN**（福島県会津若松市） <http://www.nowhere.co.jp/eyesjapan.html>
会津大学発の1995年創業のベンチャー企業。医療介護動作や矯正歯科向けのMocapやARや3Dを利用したMRIやCTの立体視システムなどの先端的なIT技術を応用した医療向けアプリケーションを開発。
- **東成エレクトロビーム(株)** 郡山テクニカルセンター（福島県郡山市） <http://www.tosei.co.jp/>
高密度エネルギービーム技術を提供する日本最大規模の受託加工業者。医療機器など多岐にわたる業界にレアメタルの溶接やナノレベルで対応できる微細加工技術などの最先端技術を提供。
- **(有) エスク**（福島県西白河郡） <http://www.e-s-a.jp/>
金属精密細管の開発型ベンチャー企業。内視鏡部品、カテーテル、ステント、分析機器などにTi、Ti合金、タンタル、Ni基合金、形状記憶合金などの特殊金属からステンレスまで様々な材質のパイプを提供。
- **(株)シンテック**（福島県いわき市） <http://www.syntec-jp.co.jp/>
1996年創業の少数精鋭の開発型ベンチャー企業。医療・歯科関係でも注目されている形状記憶合金、Ti、Ti合金などにロジウムや金などの貴金属めっきを行う技術を開発し、量産も行う。

【欧州企業プレゼンテーション（4社 [予定]）】17:00~18:00

- **Beneq Oy**（フィンランド） R&D 技監 Ville Malinen 氏 <http://www.beneq.com/>
Beneq社による複雑な形状、素材に対するALDコーティング技術
- **amedo smart tracking solutions GmbH**（ドイツ） CEO Volker Trösken 氏
<http://amedo-gmbh.com/index.htm>
CT手術ガイドレーザーおよびRFIDを利用したカテーテルトラッキングデバイス
- **BIT Analytical Instruments**（ドイツ） System Manager Cornelia Haenel 氏
<http://www.bit-instruments.com/>
医療機器、分析機器の企画、開発、製造、アフターサービスまでワンストップで提供する受託開発企業。

※プレゼンテーション企業との個別面談 14:00~18:30 (@8階 801・802会議室)

2月24日(水) 10:00~15:25

モデレーター：国立循環器病センター 研究所 副所長・先進医工学センター長 妙中 義之 氏

【基調講演】 10:00~11:00

「医療機器産業の将来性と自社の事業戦略（仮題）」

テルモ(株) 取締役 専務執行役員 ホスピタルカンパニー統轄 兼 研究開発本部管掌 松村 啓史 氏

【講演】 11:00~11:20

「ドイツ・NRW州を中心とした医療機器クラスターの取り組み」

RWTH Aachen University

Chairman, Applied Medical Engineering Thomas Schmitz-Rode 氏

【米国企業プレゼンテーション（4社 [予定]）】 11:20~12:20

■Devicix (米国・ミネソタ) CEO Peter DeLange氏 <http://www.devicix.com>

医療機器のデザイン、設計、プロトタイプなど初期段階の開発を請け負う、開発サービスプロバイダ。FDA申請時に必要な要件を満たした初期開発を受託する。日本における共同開発、販路開拓パートナーの発掘を希望。

■DGIMED Ortho, Inc (米国・ミネソタ) CEO Philip Smith 氏 <http://dgimedortho.com/>

整形外科関連の医療器具の開発を行う企業。骨折治療時の遠位固定をサポートするシステムを開発。日本市場参入に際して治験などのサポートを行うパートナーの発掘を希望。

■Sister Kenny Research Center (米国・ミネソタ) 研究所長 Lars Oddsson 氏

<http://www.allina.com/ahs/ski.nsf/page/resctr>

同研究所は、リハビリテーションや治療に関する教育、研究を行う。リハビリテーション機器の商用化パートナーの発掘を希望。

■KAI Sensors, Inc (米国・ハワイ) 会長 Dustin Shindo氏 <http://www.kaisensors.com/>

同社は、ドップラーシフトを応用した呼吸状態のモニタリングを非接触、非拘束で行うことができるシステムを開発。日本での事業化を支援する企業を求める。

※プレゼンテーション企業との個別面談 10:00~18:30 (@8階 801・802会議室)

【昼食交流会（名刺交換会）】 12:20~13:30

場所：旬和席 うおまん 西梅田本店（ブリーゼブリーゼ6階）

参加費：企業関係者1000円/人、その他2000円/人

[要事前申込み/定員80名/参加費は当日現金にて徴収させていただきます]

【パネルディスカッション】 13:40~15:25

「海外企業との連携で医療機器ビジネスに進展を。具体的な連携方法とその事例」

国際連携といっても、具体的にどんな海外企業とどんな組み方が可能で、自社にはどのような種類の企業とのアライアンスが適しているのか。医療機器分野における経験の深い企業、大手企業だが、医療分野は新規参入してきた企業、モノづくり中小企業でこの分野に関心を持っている企業等、多様な企業の皆様にご参考にしていただける様々なケースのご紹介を含めたディスカッションです。

ファシリテーター：国立循環器病センター 研究所 副所長・先進医工学センター長 妙中 義之 氏

パネラー： BioBusiness Alliance of Minnesota CEO Dale Wahlstrom氏

University of Minnesota Medical Devices Center

Director DrArthur Erdman氏

Minnesota Department of Employment and economic Development

Bioscience Industry Specialist

Sarah Walbert氏

Devicix

CEO

Peter DeLange氏

Fredrikson & Byron

Attorney

Ryan Johnson氏

~BBAMと大阪商工会議所との協力提携締結~

「World Forum for BIO/MEDICAL Device in KANSAI 2010」 参加申込書 (2月23日~24日開催)

※ご記入頂いた情報は、大阪商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用するのをはじめ、講師に参加者名簿として配布します。ご了解の上ご記入ください。

(1) 参加者情報

会社名			
住所	〒	—	
参加者氏名		部署・役職名	
TEL		FAX	
E-mail			

(2) 参加プログラム (参加される時間帯全てに○を付けてください)

() 2月23日(火) 午後 () 2月24日(水) 午前 () 2月24日(水) 午後

~~(3) 2月24日(水) 12:20~13:30 昼食懇談会(名刺交換会)~~

~~場所: 旬和席 うおまん 西梅田本店 (プリーゼプリーゼ6階)~~

~~参加費: 企業関係者1000円/人 その他2000円/人~~

~~(要事前申込み/定員80名/参加費は当日現金にて徴収させていただきます)~~

~~() 参加する () 参加しない~~

※昼食交流会は定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました。

(4) 個別面談希望 (個別面談を希望される企業に○をつけてください。)

■国内企業

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| () クラスタテクノロジー(株) | () 奈良精工(株) |
| () (株)化繊ノズル製作所 | () 東洋理機工業(株) |
| () シーシーエス(株) | () (株)Eyes, JAPAN |
| () 八十島プロシード(株) | () 東成エレクトロビーム(株) 郡山テクニカルセンター |
| () 日精テクノロジー(株) | () (有) エスク |
| () ハイレックスコーポレーション(株) | () (株)シンテック |
| () 山科精器(株) | |

■海外企業

- () Beneq Oy (フィンランド)
() amedo smart tracking solutions GmbH (ドイツ)
() BIT Analytical Instruments (ドイツ)
() Devicix (米国・ミネソタ)
() DGIMED Ortho, Inc (米国・ミネソタ)
() Sister Kenny Research Center (米国・ミネソタ)
() KAI Sensors, Inc (米国・ハワイ)

【個別面談ご希望の企業様へ】

※面談当日は、貴社事業・商品・技術内容に関する資料(英文資料)やサンプル等をご準備ください。(海外企業との面談は日⇄英逐次通訳付)。個別面談の時間帯は別途調整の上、ご連絡させていただきます。

※個別面談にご参加いただく皆様には、簡単なアンケートにご協力いただきたく存じます。個別面談に対する満足度および簡単な商談内容等をご教示願います。なお、ご記入いただいた情報は適切に管理の上、事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのためにのみ利用します。

※個別面談は申し込み多数等の場合、アレンジできないことがありますことを予めご了承ください。

【国内企業】

クラスターテクノロジー㈱ (大阪府東大阪市) <http://www.cluster-tech.co.jp/>

DNA や細胞などの高価な液体を扱う研究開発現場では必要以上の試料で実験を行っているのが実状です。また、微量な試料を安定して取り扱うのはかなり困難であり、このような問題に対して当社のインクジェット「パルスインジェクター®」は数 μ LのデットボリュームでpLオーダーの液滴を正確にコントロールすることが可能です。当社製品は、DNA・蛋白質・細胞・菌などあらゆる生体材料の吐出実績があり、耐薬品性が高く、水系はもちろん、溶剤に関しても広くご利用いただけます。高粘度溶液も常温で対応できますので生体材料にストレスを掛けることがありません。応用例として細胞を積層して組織化するチップの形成や抗体を定量、定位置に配置して抗原濃度を検出する評価・分析機器などに利用されています。

(製品・研究開発一覧): <http://www.cluster-tech.co.jp/products/inkjet/index.html>

(パルスインジェクター®の応用分野): http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/001.pdf

㈱化繊ノズル製作所 (大阪市) <http://www.kasen.co.jp/>

化繊ノズル製作所は、1948年創立以来、合成繊維向け紡糸ノズルを製作しております。年々高度化・高精度化するニーズに対応して、超精密加工技術の開発を推し進め、マイクロリアクター、マイクロギアポンプ、各種精密加工部品、合成繊維用紡糸ノズル、不織布紡糸用ノズル、フィルムシート製造用金型等を製作してきました。工具を社内で自社製作し、最小孔径 $\phi 2\mu\text{m}$ の孔加工から最大5mの金型加工まで対応可能です。紡糸ノズルの加工で培われた超精密加工技術をベースに繊維業界、フィルムシート業界はもちろん半導体・液晶製造業界、医療機器業界及び食品、エレクトロニクス、通信、航空宇宙、バイオ産業など多方面の分野に拡大しています。

シーシーエス㈱ (京都市) <http://www.ccs-inc.co.jp/>

シーシーエスは、「光を科学し、社会に貢献する」を企業理念に掲げ、工場の各工程の検査に用いられるマシンビジョンLED照明分野で国内60%シェアのリーディングカンパニー。数多くの特許技術を保有し、独自の「ライティング・ソリューション」で対象物や撮像目的に応じて最適なライティングを提案。対象業界は電子・半導体、自動車、食品・医薬品・化粧品関連まで多岐にわたり、海外売上高も全体の約3割を占めます。さらに大学と共同で開発した太陽光に近い波長を持つ「自然光LED」は業界最高レベルの演色性を実現。独自のLED技術を活かして医療分野、民生・商業分野など新規事業を展開しています。

八十島プロシード㈱ (神戸市) <http://www.yasojima.co.jp/>

高機能性樹脂の切削加工、及び各種樹脂材料の販売を行っています。半導体関連の製品製造で培われた微細加工技術を始めた高精度切削加工技術を、医療関連製品製造にも応用しています。また取扱材料の種類も幅広く、生体適合性のある樹脂を始め、耐薬品性、耐熱性樹脂などあらゆる樹脂に対応し、異素材とのアッセンブリなどのご要望にもお応えさせて頂いております。実績分野は、整形外科領域を中心に、循環器、バイオ、歯科、眼科、各種医療機器開発等、オーダーメイドの滅菌ケースも製作しています。一個単位の試作品製造から大量生産まで、あらゆるご要望にお応えいたします。

(超精密加工技術で医療の未来を創造します。): http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/002.pdf

日精テクノロジー㈱ (神戸市) <http://www.nisseig.com/>

当社は50年以上に渡り、電機・精密機器業界で部品からデバイス・完成品に至るまで幅広く、ソニー・キャノン・シャープ・ブラザー・フィリップス等の大手企業様向けに製造受託業務を行って参りました。当社の強みは、長年蓄積した精密メカニズム・光学・ナノ加工技術をベースに、電気・電子技術を含めたR&D機能を付加して、医療機器業界のお客様に「小型化」「高性能化」のご提案をさせて頂けることです。また製造については、日本のみならず、中国・ベトナム・マレーシアのアジア3ヶ国にて20年以上の海外生産実績から、高品質かつリーズナブルな価格にて対応させて頂きます。

(医療分野へのアプローチ): http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/003.pdf

ハイレックスコーポレーション㈱ (兵庫県宝塚市) <http://www.hi-lex.co.jp/>

当社は1946年の創業以来、自動車等のコントロールケーブルの生産・研究開発技術を通じて長年培われた樹脂や金属等の素材知識・加工技術のノウハウを基に、新たな試みとして、内視鏡の機能部品や心臓・内蔵等の血管を通した治療に用いられるカテーテルやガイドワイヤー等の医療機器の開発・生産を行なっています。また、医療機器の品質マネジメントシステムISO13485の認証を2005年に取得しています。さらに、チタン繊維からなる細胞浸透性の高い3次元足場材料をもとに、再生医療、創薬に貢献できる次世代の3次元細胞培養基材、人工歯根、人工骨、骨補填材等への展開を大学等の研究機関と連携して進めております。

山科精器(株) (滋賀県栗東市) <http://www.yasec.co.jp/>

山科精器と申します。弊社は、専用工作機械、船舶用および発電プラント向けの熱交換器、船舶用ユニット部品を製造販売しているメーカーでございます。また、新事業として内視鏡用手術器具と遠心分離装置の開発を進めております。遠心分離装置は、 μ Lオーダーの微量血液の血球分離が可能なデバイスの開発を進めております。内視鏡用手術器具は、エネルギー源としてマイクロ波を用いております。血管閉鎖や切離などが可能なデバイスを開発しております。製品化へ向けた、機器の改良や検証実験を一緒にできるパートナーを探しております。

(マイクロ波デバイス) : http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/004.pdf

(遠心分離装置) : http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/005.pdf

奈良精工(株) (奈良県桜井市) <http://www.nara-seiko.co.jp/>

1968年の創業以来、光学機器の部品加工を得意とする企業である。この20年間には、OA機器及び医療機器の部品加工を順次立ち上げ、現在では個々の生産規模が各30%を占めるまでになってきている。特に材質的には、チタン合金、SUS、アルミ合金等が主であり、これらの精密部品加工を得意としている。医療機器に関しては、厚生労働省の第一種医療機器製造販売業としての許認可を取得し、医療機器製品を国内外に販売展開している。今後は、医療機器の売上比率を50%まで拡大し、売上高をアップさせる予定である。弊社は、難切削材の加工技術に秀でているため、このような材質の加工製品の受注も順次拡大方向にある。

東洋理機工業(株) (大阪市) <http://www.toyoriki.co.jp/>

東洋理機工業(株)は産業用ロボットのシステムインテグレータとして30年近くの経験を有しています。3Kと称される過酷な作業環境での作業をロボットで代替することを主な業務としており、さらには少子高齢化社会の労働人口減少に対し「職人の技能をロボットで継承させる」ための研究開発を行っています。

(会社紹介) : http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyoku/bio_business/006.pdf

(株) Eyes, JAPAN (福島県会津若松市) <http://www.nowhere.co.jp/eyesjapan.html>

日本初のコンピュータサイエンスの単科大学である会津大学発の1995年創業のベンチャー企業。「優れたテクノロジーは魔法と区別がつかない」をビジョンに医療介護動作や矯正歯科向けのMocapや、Computer Visionを使った視線感知及びジェスチャー認識ホームオートメーション向けインターフェイス、ARや3Dを利用したMRIやCTの立体視システムなどの先端的なIT技術を応用した医療向けアプリケーションを開発している。

東成エレクトロビーム(株) 郡山テクニカルセンター (福島県郡山市) <http://www.tosei.co.jp/>

東成エレクトロビームは数十台の電子ビーム溶接機・レーザ加工機を保有し、高密度エネルギービーム技術を提供する日本最大規模の受託加工業者です。常に最先端の技術を導入して顧客の高度なニーズに対応しています、レーザによる微細加工技術でのマイクロリアクターの製作やMEMSに必要な高度な溶接技術など他社にはできない高い加工技術で、宇宙ステーション、ジェットエンジンの部品加工をはじめ、半導体製造装置、医療機器など多岐にわたる業界にレアメタルの溶接やナノレベルで対応できる微細加工技術などの最先端技術を提供しています。

(有) エスク (福島県西白河郡) <http://www.e-s-a.jp/>

レアメタルも含めた難加工材の金属精密細管を提供します。2000年に世界最高品質の『他には出来ないパイプの製造』でオンリーワンになることを目指し、20年近く努めたパイプメーカーから独立し、創業しました。金属精密細管の開発型ベンチャー企業です。以来、内視鏡部品、カテーテル、ステント、電子部品、分析機器、自動車ABS、原子力、宇宙産業分野などにTi、Ti合金、タンタル、Ni基合金、形状記憶合金などの特殊金属からステンレスまで様々な材質のパイプを提供しています。特に最近は医療機器関連分野で試作開発を進めています。

(株)シンテック (福島県いわき市) <http://www.syntec-ipc.co.jp/>

時代のニーズに対応する商品開発と高度な技術力と柔軟な生産体制を提供します。1996年創業の少数精鋭の開発型ベンチャー企業です。Ti、Ti合金、形状記憶合金などの特殊素材の応用品に強みを持ち、これまで携帯電話機用アンテナ、高性能電波時計用アンテナなどの開発・量産を手掛けました。近年、医療・歯科関係でも注目されている形状記憶合金、Ti、Ti合金などにロジウムや金などの貴金属めっきを行う技術を開発し、量産も行っています。今後、更に医療機器関連分野に貢献できるものと確信しています。

【海外企業】

「Beneq社による複雑な形状、素材に対するALDコーティング技術」

Beneq Oy (フィンランド) R&D 技監 Ville Malinen 氏 <http://www.beneq.com/>

同社は、ガラス、セラミック、金属など様々な素材をターゲットとした、ALD薄膜コーティングの技術を持つ、フィンランド企業。同社の強みは幅広いターゲット素材、また、複雑な形状を持つ製品に対してコーティングを施すことができる。コーティングの厚さや層など、細かなパラメーターのコントロールが可能。コーティングの装置開発も行っており、コーティングサービスの提供とともに装置の販売も行う。日本でのクライアント発掘を希望

「CT手術ガイドレーザーおよびRFIDを利用したカテーテルトラッキングデバイス」

amedo smart tracking solutions GmbH (ドイツ) CEO Volker Trösken 氏

<http://amedo-gmbh.com/index.htm>

同社は、あらゆるCTスキャナに装着が可能な、CT手術用のガイドレーザーシステムを開発。同システムは、CT画像と連動することで、手術位置や角度をレーザーによって術者をガイドする。欧州ではすでに製品化されている。その他、微小のRFIDをカテーテルに内蔵し、体内での位置を1mm単位でトラッキングするシステムなども開発中。CT手術用ガイドレーザーについては、日本における販路開拓パートナーを、その他の技術については共同研究・開発パートナーの発掘を希望。

BIT Analytical Instruments (ドイツ) System Manager Cornelia Hanel 氏

<http://www.bit-instruments.com/>

年間総売上高1600億円、従業員6500名のMesserグループの一員である当社は、医療、分析機器、特にIn vitroの診断機器に強い専門性を有している。当社の強みは、35年を超える経験を活かした、開発、製造受託、サブアセンブリー、OEM、アフターフォローなどワンストップのサービスを提供できる点です。今回の訪問では、臨床化学、免疫学、血液学、血液凝固学、及び分子システムを中心とした診断機器に関わるパートナーの発掘を希望。

Devicix (米国・ミネソタ) CEO Peter DeLange 氏 <http://www.devicix.com>

医療機器のデザイン、設計、プロトタイプなど初期段階の開発を請け負う、開発サービスプロバイダ。FDA申請時に必要な要件を満たした初期開発を受託する。開発は装置系、電気系、ソフトウェア系などあらゆる分野でエキスパート人材を配して行う。米国では大手医療機器メーカーのクライアントも多い。日本における共同開発、販路開拓パートナーの発掘を希望

DGIMED Ortho, Inc (米国・ミネソタ) CEO Philip Smith 氏 <http://dgimedortho.com/>

整形外科関連の医療器具の開発を行う企業。骨折治療時の遠位固定をサポートするシステムを開発。術者、患者の負担を軽減することができる。同社製品群の一部はすでにFDA承認を取得済み。日本市場参入に際して治験などのサポートを行うパートナーの発掘を希望。

Sister Kenny Research Center (米国・ミネソタ) 研究所長 Lars Oddsson 氏

<http://www.allina.com/ahs/ski.nsf/page/resctr>

同研究所は、リハビリテーションや治療に関する教育、研究を行う。同署では特に歩行支援や医療用ベッド、関連ロボットなどの先進的な研究、それらプロジェクトの商用化も積極的に行っている。同所開発のリハビリテーション機器の商用化パートナーの発掘を希望。

「FDA510(k)承認済み非接触、非拘束による呼吸状態モニタリングシステム」

KAI Sensors, Inc (米国・ハワイ) 会長 Dustin Shindo 氏 <http://www.kaisensors.com/>

同社は、ドップラーシフトを応用した呼吸状態のモニタリングを非接触、非拘束で行うことができるシステムを開発。これにより、被験者にデバイス等を装着する必要もなく、自然な状態での計測が可能。